

障がい者のモチベーション向上と経済的自立に貢献 個人の能力、環境に合わせた業務体制の構築

2017年に設立。障がい者総合支援法に基づく、就労継続支援事業と共同生活援助を運営。障がい者の働く場として飲食・菓子製造業「patisserie soraka」を営み、その販路として直営店舗のほか、全国の百貨店での物産展にも出店。同社のスイーツは地元生産者の農産物を加工し製造。グルテンフリーでデザインも重視しているため好評を得ている。地元観光の牽引を促す商品開発も行っており、地域活性化にも貢献。食の課題と障がい者の経済的自立の課題を平行して解決できる企業を目指している。

所在地 北海道岩見沢市6条西1丁目4番地
電話/FAX 0126-35-1945/0126-35-1946
URL <https://www.jouvre-inc.com/>
代表者 代表取締役 矢島 幸子

設立 2017年
資本金 160万円
従業員数 15人



組織体制の整備により一人ひとりが能力を最大限発揮できるダイバーシティ経営

従業員の8割、施設利用者の約半数は女性で、幅広い年齢層の従業員、施設利用者が在籍している。精神保健福祉士も3名配置し、障がい者の個別ニーズを細かくアセスメントし、就労とマッチングさせている。福祉支援職以外の専門職を雇い入れ、商品開発や製造にあたることは珍しいことであるが、同社ではパティシエを雇用。パティシエが商品開発を行い、障がい者個々の能力に合わせた細分化した工程で技術指導を行っている。重度の障がい者もプロのスイーツ作りに携わることができる組織体制を整備している。



人気のスイーツ「月夜のエクレール」

工賃の向上と柔軟な利用時間や勤務時間による働きやすさの追求

同社は利用年数や技能によって、工賃が向上する仕組みを作っている。平均工賃は毎年右肩上がりに推移し、北海道ならびに全国の平均を上回っている。固定した利用時間等一律の支援をしている施設が多いなか、同施設は障がい者の個別ニーズや能力に合わせた利用時間を設定し、受入の幅を広げている。子育て中の従業員も勤務しているため、柔軟な勤務体制・勤務時間により働きやすい雇用環境を整備している。そのため、日々の引継ぎや情報交換をチャットなどで密に行い、情報の伝達ミスを少なくしている。



従業員、利用者の集合写真

モチベーションの向上ならびに国家資格取得に向けたサポート体制の構築

顧客に喜ばれるスイーツ作りに携わることで、障がい者のモチベーションの向上や自尊心の回復にもつながり、製菓衛生師資格取得の希望者も現れている。資格試験の勉強を従業員がサポートし、キャリアアップにも力を入れている。障がい者の程度に合わせた仕事内容を考え、社会の生産活動の一翼を担っているという、自信を回復できるような就労機会の場を提供。障がい者が誇りをもって生きていける雇用の創出に積極的に取り組み、持続可能な開発目標 (SDGs) が達成できるよう努めている。



スイーツの製造風景